

平成28年6月24日

財務大臣・日本銀行総裁共同談話

英国において、6月23日（木）に国民投票が行われ、EU離脱に賛成する票が反対する票を上回る結果となった。

この結果が、世界経済や金融・為替市場に与えるリスクについて懸念しており、引き続き注視していく。

為替市場を含む金融市場の安定性は極めて重要である。為替レートの過度な変動や無秩序な動きは、経済及び金融の安定に対して悪影響を与え得るものであり、望ましいものではない。財務省としては、為替市場の動向をこれまで以上に注視し、必要に応じて対応を行う。こうした対応は、G7、G20の合意内容に沿うものである。

また、外貨流動性の不足といったリスクも想定される。これについては、主要国の中央銀行が結んでいる通貨スワップ網も整備されており、日本銀行としては、こうした枠組みを活用し、必要に応じて対応を行う。

政府・日銀は、世界経済の成長と、為替市場を含む金融市場の安定に万全を期すため、他のG7諸国とも連携しつつ、対応していく。